

90周年 岡山土地倉庫

特別対談企画

Vol.1



2025年4月、岡山土地倉庫は創立90周年を迎えました。これを記念して、岡山土地倉庫と長年にわたり深い繋がりのある、中国銀行で第10代頭取を務める加藤貞則様をお招きし、末長範彦会長との対談が実現しました。



株式会社中国銀行

第10代取締役頭取
加藤 貞則 様



岡山土地倉庫株式会社

代表取締役会長
末長 範彦

中国銀行との強い絆での出発

末長会長 このたびは対談をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。創立90周年の節目に、弊社とゆかりの深い中国銀行さんとぜひお話をさせていただきたいと思い、お願いした次第です。

加藤頭取 たいへん光栄でございます。岡山土地倉庫さんは、もともと中国銀行の子会社としてスタートされたんですね。中国銀行ができたのは昭和5年。その5年後の昭和10年に、岡山土地倉庫さんが創立されています。

末長会長 はい、祖父の末長勢一は当時、倉敷紡績に勤めていました。倉敷紡績の社長であり、中国銀行の頭取でもあった大原孫三郎氏が、勢一を岡山土地倉庫の社長に任命したそうです。

加藤頭取 残っている記録を見ますと、戦後、昭和23年まで岡山土地倉庫さんの事務所が中国銀行本店の中にあったそうですね。

末長会長 そうだったんです。それからしばらくして、中国銀行の子会社から独立しました。

加藤頭取 岡山土地倉庫さんには現在私どもの株主として支えていただいてますが、歴史的にも強い絆で結ばれているんだなと感じます。末長会長が入社されたのは昭和46年だそうですね。

末長会長 祖父が他界したことで岡山に戻ることになり、まずはグループ会社の岡山トヨベットに入社しました。25歳のときです。2代目を継いだ父・正三もその2年後に亡くなりまして、私がグループ各社の社長を継ぐことになったのです。

加藤頭取 それは急なことでしたね。

末長会長 ただ、岡山土地倉庫の社長職だけはすぐには難しいということで、当時、三井造船の顧問を務めていた宮崎定一さんをお迎えし、社長を継いでいただきました。そして4年後の昭和52年に私が社長に就任しました。ですから私は4代目ということになります。

加藤頭取 それでもまだお若いときですよ。

末長会長 岡山土地倉庫の社長になったのが31歳ですね。

加藤頭取 当時はどのようなお気持ちでしたか。

末長会長 入社前はトヨタ自動車販売に勤めていたのでクルマのことは分かりますが、倉庫業は未経験、そして経営者としても初めて。それでも若かったからか「怖いものなし」という心境でした。とにかく精一杯やるだけで、不安というのは特になかったように思います。

このお話の続きはサイトで

まだまだお2人の対談には続きがありますので、岡山土地倉庫のウェブサイト内に開設した90周年特設ページにて、ぜひご覧ください。

90周年特設
ページURL



特別対談
ページURL



特別企画は今後もvol.2、vol.3と続いていく予定です。どうぞお楽しみに！